

大阪工大通信 およど

OIT Website ▶ <http://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

およど No. 269

2020年3月



一路平安

学長 益山 新樹

ご卒業・修了される皆さん、おめでとうございます。この日を迎えられたのは、何よりも皆さん一人一人の努力の賜物ですが、周りの方からの有形無形の支えがあって学生生活を送ることができた、ということも忘れてはなりません。その方々に感謝の気持ちを伝えて下さい。

この春、人生の次のステージに向かう皆さんに、次の2つのことを「はなむけの言葉」として贈りたいと思います。まず、これからも貪欲に学び続けて下さい。皆さんは本学で専門知識を修得し、社会の現場で活躍できる技量を身に付けてこられました。しかし、世の中は進歩の歩みを止めることなく、常に変化し続けています。すでにAIやIoTなどの革新的技術を産業や社会に実装するSociety5.0と言われる超スマート社会に突入し、終身雇用制という日本型システムも見直されようとしています。皆さんは、これからも学び続けることで自身のスキルをアップデートすることを怠りなく！ そのために、本学は皆さんのキャリアアップを支援する社会人向けの教育にも注力していきます。もう一つは、be proud of OIT。皆さんは今日から約11万人の本学OBOGの一員です。これまで、今日も、実社会から高い評価を受けている歴史と伝統ある大阪工業大学で学んだことを誇りに思い、社会で活躍し、そして、将来は母校に恩返しして下さい。そのことは、必ずや本学で学ぶ後輩諸君の力になります。

どうか健康に留意され、前を向いて素敵な人生を送られんことを。一路平安！



CONTENTS

- P2 卒業生に贈る言葉
- P3 卒業生特集
- 6 ウインドアンサンブルが金賞を受賞
- P6 防災フェスタを実施
- P8 図書館食堂の新名称が決定

卒業生に贈る言葉

人格の完成を 目指して

副学長
(教育・研究改革、産学連携担当)
学生部長 岡山 敏哉



ご卒業・修了おめでとうございます。教育基本法の「教育の目的」に「人格の完成を目指し」とあります。教育課程を終えた今、皆さんの「人格(Character)」は完成しましたでしょうか。「まだ、これから」と思っている人に、イギリスのサッチャー元首相が引用していた言葉を贈ります：Watch your thoughts, for they become words. Watch your words, for they become actions. Watch your actions, for they become habits. Watch your habits, for they become character. Watch your character, for it becomes your destiny.

素晴らしい未来が あなたに 訪れますように

工学部長
(研究科長兼任)

森實 俊充



ご卒業・修了おめでとうございます。この節目にあたり、皆さんの学生生活はどうだったでしょうか。「大学生活に一片の悔いなし」?それとも「悔いの多い大学生活を送って来ました。」でしょうか?確かに、卒業、修了は終わりです。が、新たに社会に出ていく皆さんにとっては始まりでもあります。良かった人はそのまま続きますように、良くなかった人は一転良くなりますように。皆さんの素晴らしい未来を祈念しております。

10年後の ありたい自分に 向かって!

知的財産学部長

林 茂樹



皆さんご卒業おめでとうございます。大学時代の楽しい思い出を胸に、新社会人として元気よく羽ばたかれると思います。社会に出た後、常に夢や志を持って、毎日創意工夫されれば、大きな飛躍ができます。人生は毎日の積み重ねですが、目標がないと日々の雑務に流されてしまいます。当初明確な目標をもつことは難しいことと言えますが、真摯に日々の仕事に打ち込み、周りに感謝し、環境の変化を常に注意し、先を読んで準備していれば、時間の経過とともに目標も見えてきます。仕事に楽しさややりがいを感じながら、10年後の夢を持ち、その実現に向かって、常に夢を追い求める幸せな人生を歩んでください。

最後まで諦めずに 粘り強く!

副学長
(梅田キャンパス教育・研究改革、
産学連携担当) 宮岸 幸正



ご卒業・修了おめでとうございます。大学での勉学を終え、これからのいよいよ社会で活躍されることとなります。自ら学んだ専門領域の知識と経験を生かしつつ、より実践的な仕事を通して、大いに成長されることを期待しています。何事もスタートが大切です。物事をやり遂げるには、粘り強く根気が必要です。皆さんに次の「4つのP」の言葉をお贈りしたいと思います。それは、Practice(実行)、Perseverance(根気)、Patience(忍耐)、Passion(情熱)です。またいつかどこかでお会いし、社会人として立派にご活躍されている姿にお目にかかれることを楽しみにしています。

人ならではの 役割を担える人に

ロボティクス&デザイン工学部長
(研究科長兼任)

大須賀 美恵子



ご卒業・修了おめでとうございます。AI・ロボットの急速な実用化で仕事も生活も大きく変わります。職を奪われるというネガティブな捉え方ではなく、技術を味方につけて、人だからこそできること、人がするべきことを見極め、めざしてください。人生100年、様々なことが起こるでしょう。困ったときは古巣を訪ねてください。OITの教職員はいつでも皆さんの相談に乗ります。無事、卒業・修了できるのは保護者の方々に始めとする周りの支援者のお陰でもあります。ぜひ、喜びと感謝の気持ちを伝えてください。

「一隅を照らす」 人であれ!

大学院知的財産研究科長

小林 昭寛



ご卒業・修了おめでとうございます。社会に飛び立つ皆さんに、「一隅(いちぐう)を照らす」という言葉を贈りたいと思います。各自が、置かれたそれぞれの場で精一杯努力して明るく光り輝くことにより、結果的には社会全体が明るく照らされるという意味です。自分の持ち場で全力を尽くすことが大事だという考え方は。進む道は人それぞれですが、それぞれ一所懸命に全力を尽くされることを期待しています。時には苦しいこともあるでしょうが、明るく前向きに自分の道を進んでいってください。

世界に羽ばたく エンジニアを 目指して

副学長
(枚方キャンパス教育・研究改革、
産学連携担当) 小堀 研一



ご卒業・修了おめでとうございます。在学中に専門知識や技術の習得だけでなく、課外活動を通じて様々な経験を積んで幅広いスキルを体得したことと思います。しかし、勉学はこれで終わりではなく、これからが本当のスタートです。大学での技術や経験は社会で働く上での基本ですが、変化の激しい現在では通用しないことも多々あります。また、グローバル化が急速に進んで日本の産業も様々な場面で逆境の局面に立たされています。しかし、「逆境のときこそ、最大のチャンス」と捉え、日頃から視野を広げ、最新の技術や知識を学ぶ姿勢を忘れずに努力されることを切望します。常に健康には留意していただき、世界に羽ばたく技術者として活躍されることを心から祈っています。

異分野の人との 交流を!

情報科学部長
(研究科長兼任)

佐野 睦夫



ご卒業・修了おめでとうございます。まずは、今まで支えてくださった保護者の方々に感謝の意を伝えてください。今、情報分野では、価値創造型IT人材が求められています。皆さん、自分の枠にとらわれず、異分野の人との交流を積極的に進めてください。きっと、新しい価値が生まれてくると思います。世の中は、皆さんを求めています。何かあったときは、いつでも情報科学部を訪ねてください。新しい時代を共に生きていきましょう。

Congratulations
on your graduation!

卒業生特集

文化会・その他 **これからに活かす**

城北祭実行委員会
知的財産学部 知的財産学科

伊藤 恵理奈

就職内定先 ▶ 株式会社技研製作所



卒業しても会いたい仲間

私は城北祭を運営する実行委員会に所属していました。そこでは3つの部署に分かれて活動を行います。締め切りなどが違い忙しい時期はそれぞれ違います。大変な時期に違う部署のメンバーや、引退された先輩方、後輩が手伝いをしてくれたり、声をかけてくれたりと周りの人に助けられてきました。一緒に頑張ってきた仲間に出会うことができ、本当に充実した学校生活が送れました。卒業しても会いたいと思える仲間ができて本当に良かったです。

言葉にする大切さ

広報という部署に属していたため、パンフレットやポスター作りのためにパソコンを用いた活動が多くありました。しかしどのツールも初めて使うもので、さらにパソコン作業に対して苦手意識を持っていました。入ったばかりの頃は自己流で作業し、先輩にほとんど修正していただいたのは苦い思い出です。その経験から、少しでも疑問があるときは言葉にして聞くことで自身のスキル

にもなり、周囲の力にもなれると体感しました。

目標を持つこと

城北祭は実行委員だけでは開催することができません。学校や業者の方、参加してくれる団体、来てくれる方がいて初めて成立します。その中で一定のルールを設ける必要があり、反発などもあります。外部からだけでなく、仲間内でも衝突がありました。しかし、城北祭を成功させたいという共通の目標があったからこそ頑張ってきたのだと思います。そして約70人もの人数をまとめてくれた幹部には尊敬と感謝しかありません。社会人になり今まで以上に多くの人と関わっていくこととなります。上手いかわからないときや、挫けそうになることもあるかもしれませんが、これまでの学生生活を活かし、自身の目標をしっかりと持って頑張りたいと思います。



体育会 **最後まで、**

体育会 硬式野球部
工学部 建築学科

山本 将弘

就職内定先 ▶ 鹿島建設株式会社



あと一步

四年生の春、自分の代にとっては最後となるリーグ戦で惜しくも一歩及ばず、1部リーグで2位に終わったことが硬式野球部での活動で最も印象に残ったことです。自分自身は建築学科だったのもあり、課題等に日々追われながら、部活もしていた為、両立がとても難しく、留年をしてしまいました。大きな挫折でしたが、勉強も部活も最後までやろうとモチベーションも高く持ち、両立を目指し努力しました。三年生からは学生コーチとしてチームを支えるという役割を監督からいただき、リーグ戦のベンチにも最後まで入ることができました。優勝こそ逃しましたが、仲間と団結し、最後まで戦い続けることができたことを誇りに思います。

やり遂げる

大学でのクラブ活動、勉強を通して最後まで諦めることなく物事をやり遂げる大切さを学びました。建築の勉強量もとても多かったため、日々時間に追われながら野球でもできる限りの努力を続けました。満足に試合には出場できませんでしたが、努力を評価され、三年生からは学生コーチという役割をいただき、選手時代よりも一層

やりがいを感じてチームが勝つために試行錯誤をしながら両立を目指しました。徐々に選手からも信頼され、結果もついてくるようになりました。リーグ戦でも好成績を残し、やれることをやり切って引退できました。大変な日々でしたが最後までやり遂げることができ、とても満足しています。

挑戦

三年生の春頃から就職のことを考え始めました。野球部での経験を活かして現場の最前線で働く施工管理職を希望しました。どうせやるなら大きな仕事を、と思い大手ゼネコンを志しました。成績がいわけではありませんでしたが今までやってきたことを自信をもってアピールした結果、目標としていた会社に内定をいただきました。これからはすべてが初めてでとてもワクワクしています。いずれは誰もが知るようなビッグプロジェクトに携わり、最前線で活躍できるよう、何事にも諦めずに挑戦し社会に貢献できるような人物になりたいです。



卒業生

モノラボプロジェクト 今しかできないことを探そう

人力飛行機プロジェクト
工学部 機械工学科

小代 凌平

就職内定先 ▶ 寺崎電気産業株式会社



鳥人間コンテスト

人力飛行機プロジェクトの活動で一大イベントである鳥人間コンテストに出場しました。その中でも印象に残った大会は、3年生で代表を務めていたときです。

台風の接近により大会のスケジュールが大幅に変更され、前倒しに競技が行われました。当初は準備や移動が間に合うのかわからない状況で出場辞退も頭をよぎりましたが、チームで一丸となってなんとかフライトすることができました。

協力することの大切さ

一つの飛行機を完成させるためにチームメイトの協力は必要不可欠です。私自身、本当にメンバーに恵まれていたなと感じており、時には鬼のように怒ることもありましたが、最後まで力を合わせて活動することができました。このプロジェクト活動では、楽しいことだけでなく、辛いこともたくさんありましたが、皆で協力しお互いを支えあいながら乗り越えることができました。

有意義な学生生活を

学生生活の四年間はあっという間に過ぎてしまいました。しかし自分自身にとってはとても刺激のある時間を過ごすことができました。皆さんも四年という長いようでとても短く、社会人になれば自由な時間も少なくなってしまうと思うので、学部・部活動・アルバイトなど今しかできないことを見つけ、有意義な学生生活を送ってください！



留学生

様々なことにチャレンジして上を目指す

工学部 電気電子システム工学科
ラワンディ バリー

就職内定先 ▶ 三栄ハイテックス株式会社



日本留学の契機

日本に初めて興味を持ったのは、高校で開かれた進学説明会の時でした。インドネシアでは、日本と言えば車の技術が優れているというイメージです。しかし、進学説明会を通じて、日本は建築や医学など様々な分野においても世界をリードする技術を有しており、加えて自国の伝統を大切にしつつ、異なる価値観が共存する現代社会が構築されていることを知りました。この進学説明会をきっかけに日本留学を決めたといっても過言ではありません。

来日後、初めて漢字に触れた私にとって日本語の勉強は大変でしたが、これも一つの過程だと思いました。新しい環境で日本の文化を知り、多国籍の友達と交流できて大切な人生経験になりました。

大学生活を振り返って

日本語学校の卒業後、コンピュータのハードウェアを勉強するために本学の電気電子システム工学科に入学しました。1年生の頃は電気電子の基礎や数学、物理学など基礎知識を習得するための授業が多く、忙しい毎日を送っていました。2年次から専門科目が増



えて難易度が上がりましたが、来日当時の経験を思い出し、難しいからこそやりがいがあり上を目指せると思い、困難に立ち向かう過程を楽しみながら、確実に疑問点を解消して課題をこなしていくことを意識しました。また、大学のアメリカンフットボール部にも入部し、スポーツを通じてチームワークの重要性を学びました。充実した大学生活は私の宝物です。

これからも努力を惜しまず堅実に

今春からLSI（大規模集積回路）設計をやっている半導体メーカーに就職します。入社後はデジタル製品の開発に取り組み、自動車や産業用機械など幅広い分野で利用されるSoC (System On Chip) の開発に携わります。既存の製品より高性能で消費電力、安全性の面においても優れた改良品だけでなく、AIを活用する将来に備えるために、人々の生活を支えるAI機能を搭載したSoCを開発したいと考えています。そのため、就職後も絶えず知識を増やし、一人前のエンジニアになり社会貢献できるよう努力していきたいです。



特集

梅田
キャンパス

挑戦し続けた大学生活

工学部 空間デザイン学科

大久保 萌

就職内定先 ▶ 株式会社 スペース



挑戦から生まれた自信

私の大学生活は、毎日新しい発見や挑戦があり、いつもワクワクしていました。「大学生」という立場をフル活用して、講義・演習、プロジェクト、一人暮らし、アルバイト、短期留学、就活など初めての経験をたくさんしました。その度に楽しみながら乗り越え、それらの経験が今になって「私はこれだけのことに挑戦してきたんだ」という自信に繋がっています。

過去の自分と比べる

自己分析が苦手で、特に「他人に負けない強み」に悩まされました。自分と他人を比べて優劣をつけることに躊躇したり、そもそも「他人」とは誰なのかと頭を抱えていたら、友人に「過去の自分と今の自分で考えたらいいよ」とアドバイスをもらいました。それからは順調に就職活動が進み、3社から内定をいただきました。また、数字では評価されないような、人と接する態度や物の考え方を多くの企業に認めてもらえたことが嬉しかったです。

幅広い視野を持つ

私の夢はたくさんの人の日常に感動を届けることです。今まで建築や空間デザインに限らず、様々な場面で心を揺さぶられるような体験をしてきました。そしてその体験は私の生きる原動力になっています。今後、空間デザインを学んだ私がさらにその夢に近づく手段として、就職先にディスプレイ業界を選びましたが、感動を届ける方法は他にもあると思います。幅広い視野を持って自分にできることを見極めながら夢を叶えたいです。



枚方
キャンパス

4年間の思い出

文化会 ジャグリングクラブ
情報科学部 情報システム学科

寺田 綾乃

就職内定先 ▶ ニッセイ
情報テクノロジー株式会社



クラブ活動で得られた経験

私はジャグリングクラブに所属し、そこでさまざまな経験をしました。老人ホームに行って演技をして、「すごかった」と声をかけてもらったことや、地域のお祭りで演技が終わったあとに子どもに手紙をもらったことなどはとても大切な思い出です。新入生の勧誘、合宿、学園祭、卒業パーティー。いろいろな行事を全力で楽しめた大学生活でした。

1人で悩むよりも

大学の勉強で一番苦労したのは、1年次のプログラミングの授業でした。教科書を調べても何も分からず、課題にも全く手が出せず、自分は向いていないんじゃないかと自習室で泣きそうになりました。そんなとき、たまたま居合わせた先輩が助けてくれ、なんとか課題を終わらせることができました。1人で悩むよりも友達や先輩に助けを求めてみる。助けを求められたときは全力で応える。そうやって4年間を乗り越えることができました。

挑戦し続けること

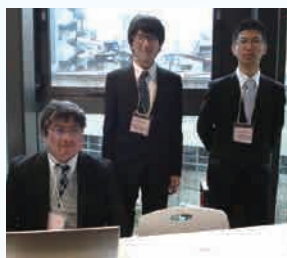
私がこの4年間、学んだ中で一番大切なことは、挑戦することです。興味があっても諦めてしまう、消極的な自分を変えたいと思い、ずっとやってみたかったジャグリングを始めてみたり、難しいかもと思いつつも入りたい企業にエントリーしてみたりと、いろいろなことに挑戦してきました。学生から社会人になり、今後様々な新しいことが待ち受けていると思います。やる前から諦めず、挑戦していけるような人間になりたいと思います。



大学院生 原動力は好奇心から

知的財産研究科 知的財産専攻
坂口 公希

就職内定先 ▶ 三菱自動車工業株式会社



やってみるから 得られること

私は大学生になったら、何でもいいから今までにやったことのないことをしようと決めていました。例えば、アルバイトやボランティア、RA（外国人研究生のアシスタント）、知財学会などに挑戦しました。これらすべては、私にとって大切な人との出会いや新しい物事の考え方をもたらしてくれました。最初は挑戦することに抵抗もありましたが、自分の興味関心の赴くままに取り組みば案外楽しくて、今では良い経験になったと思っています。

思いやり

私は大学生活で同期や先輩、後輩、先生方に数え切れないほど助けられました。そのたびに私は恩返しをすることで良好な人間関係を築くことができました。社会人になってもすることは同じです。これからも私と関わる全ての人に思いやりや感謝の気持ちを持って接していきたいと思います。

気の向くままに

今春より、私はバジェロなどで知られる三菱自動車工業のエンジニアとして社会に羽ばたきます。「すべての人々が安心して運転できる車を作ること」を念頭に車の開発に携わりたいと思っています。これまでの学生生活で培った経験が社会でどう活かしていけるのか、これからどんな人と出会うのかとワクワクが止まりません。もちろん未知の世界に不安もありますが、持ち前の好奇心を活かして、やりたいと思うことに全力投球していきたいです。



ウィンドアンサンブルが 第46回大阪府アンサンブルコンテストで金賞を受賞！

2019年12月26日に八尾市文化会館プリズムホールで開催された第46回大阪府アンサンブルコンテストに本学の文化会ウインドアンサンブルがサクソ四重奏で出場し、本大会で初の金賞を受賞しました。

部長の國井克真さん（P2）は、「演奏曲の“アンダンテとスケルツォ”は緩急のある難易度の高い曲でしたが、息を合わせ、かつ大胆な演奏を披露することができました。曲の表現方法について考え、本番で披露できたという経験は、各々の大きな財産となりました。今後も、表現豊かな演奏ができるように練習に励み、ご支援いただいている方々への感謝の気持ちを忘れず、活動していきたいと思います」と話してくれました。

本大会の目標としていた大阪府代表権は逃してしまいましたが、この経験を活かして活躍する文化会ウインドアンサンブルにご注目ください！



アイスホッケー部・後藤駿太さんが 冬季国体アイスホッケー大阪府代表に選出



アイスホッケー部・副主将の後藤駿太さん（P2）が1月29日から2月2日にかけて青森県で開催された「第75回国民体育大会冬季大会」のアイスホッケー競技成年男子の大阪府代表選手に選出されました。

小学4年のときに同部の練習を見学した後藤さんは、「激しいコンタクト（接触）プレーの迫力に感動して、自分もアイスホッケーを始めたいと思いました」と当時を振り返ります。以来、11年間打ち込んできたアイスホッケーの魅力「チームが一丸となって戦術を立ててプレーしなければ、どれだけ実力がある選手がいても勝てないところだ」と語ります。

今回の大会では、惜しくも2回戦敗退となり、後藤さん自身も満足のいく内容でなかったようです。「大阪生まれ・大阪育ちの自分が、将来は大阪代表の中心選手としてチームを引っ張り全国で成績を残すことと、工大アイスホッケー部としても同じようにインカレに出場して、全国に名を轟かせたいと思っています」と熱い抱負を語ってくれました。

後藤さんのますますの活躍と、工大アイスホッケー部の躍進に期待です！





「OIT防災フェスタ in 梅田」を開催しました

2月22日、梅田キャンパスで「OIT防災フェスタ in 梅田 ～自助力・共助力を育てる！みんなで防災について学ぼう～」を開催し、延べ239人が来場しました。

このイベントは、近隣住民や小学生らを対象として大規模災害に備え、来場者がそれぞれ手を差し伸べ“助け合う”精神のもと、行動に移すことができる防災知識を養うことを目的に学生が中心となり企画しました。

防災グッズ製作コーナーでは、応用化学研究部がキッチンペーパーと輪ゴムで作るお手軽マスクと保存食（ツナ缶）で作るランプの製作体験を提供。お手軽マスクは、化粧用のコットンをマスクの内側に詰めることで、防じん機能を高める工夫を加えました。また、ツナ缶の油を利用したランプは30分間持続し、使用後は食べることもできます。元部長の藤井駿くん（K3）は「予想よりも来場者が多かったです。保護者にもしっかりと災害時に役立つものを伝えることができました」と振り返りました。

炭とアルミホイル、食塩水で作る自家製電池と、ペットボトルで作るLEDライトの製作体験を提供した電子工学研究部部長の藤田大輔君（D2）は「製作体験を通じて、来場者の防災意識が高まってくると嬉しいです」と語ってくれました。来場者からは「身近なものがこんなに役立つとは知らなかった」といった感想が寄せられました。



LEDライトの作り方を説明する電子工学研究部の部員

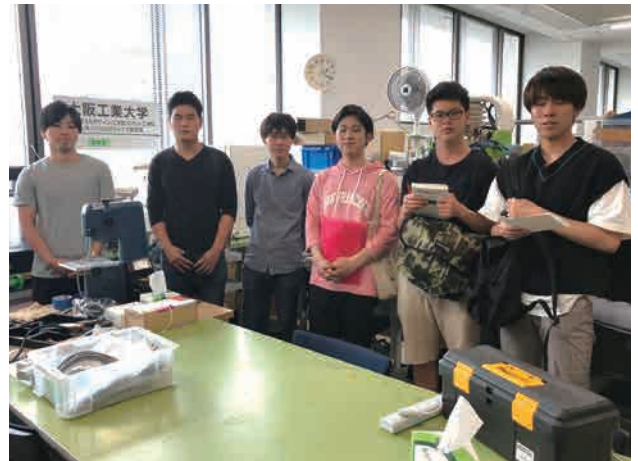


作ったマスクを装着する来場者



知財PR隊の活動報告

2019年度の知財PR隊は、ロボティクス&デザイン工学部のフレキシブルロボティクス研究室と工学部OBの会社との共同研究「ヒト足の管足摸倣型のソフトアクチュエータ技術を用いた褥瘡（床ずれ）予防装置の研究開発」で「研究マネジメントチーム」を担当しました（リーダー：楠直也さん、学部生4名）。本活動では、特許取得に向けた技術的特徴の検討や特許調査だけでなく、デザイン思考に基づく研究開発を実現するための市場調査を実施し、ブランディング戦略についても検討しました。350ほどある大阪市内の医療・介護施設を対象にしたアンケート調査およびヒアリング調査では、現場が直面している床ずれ問題の深刻さに驚きましたが、新たな解決に対する現場の期待が伝わりました。今後、デザイン思考に基づく産学連携研究開発のあり方について分析し提言していく予定です。



2019年度 外国人留学生歓送会を開催しました。



充実した大学生活を糧に、これからも頑張ります！

今年度の学位記授与式に先立ち、卒業・修了予定の外国人留学生（以下、「留学生」）の前途を祝して、1月16日（木）に留学生歓送会を開催しました。対象である工学部6名、工学研究科1名、ロボティクス&デザイン工学研究科1名、

知的財産研究科3名の計11名は、今年の4月から日本での進学や就職、または母国に帰国する者などそれぞれの道へ歩みます。

当日は、卒業・修了予定の留学生8名と後輩留学生30名、彼らがこれまでお世話になった教職員39名が集まりました。本会では、留学生たちがこれまで勉学面で苦労したことや日本での生活を振り返り、お世話になった先生方へ感謝の気持ちを伝えました。

卒業・修了される留学生の皆さんには、本学で修学した多様な知識や技術と留学中に体得した国際感覚を生かし、これから、母国と日本との架け橋となり、また世界の舞台に大いに活躍されることを期待しています。

工大流就職支援 ④④

～就職NEWS～

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。企業への就職、大学院への進学など、進路について真剣に考え悩んだ1年間、お疲れ様でした。大学に泊まって徹夜で研究をした日々、先輩や友人との人間関係に悩んだ日々、初めて経験したアルバイト先で嫌になるほど怒られた日々、それらに決して負けることなく勇気を出して一歩踏み出した経験により、ひと回りもふた回りも大きく成長し、晴れて社会に船出をされることと思います。ひょっとすると、社会に出てからもうまく行くことよりも行かないことの方が多いかもしれません。勝つよりも負けることの方が多いかもしれません。たとえ、うまく行かなくても焦らず腐らず立ち止まらずに前に進んでください。毎日が敗者復活戦です。これまでの先輩も石の上にも3年、嵐の後には風がくるという思いで後輩のために道を切り開かれました。

まさに、大阪工業大学のブランド力を高め、後輩への新たな道を切り開くのは、卒業生の皆さんにかかっていると言っても過言ではありません。皆さんの新天地での活躍を期待しています。

図書館食堂の新名称が「チェルカトーレ」に決定しました



新名称「チェルカトーレ」を指さす安藤さん、ボランティア・Linkの部員（岡田さん、小村さん）

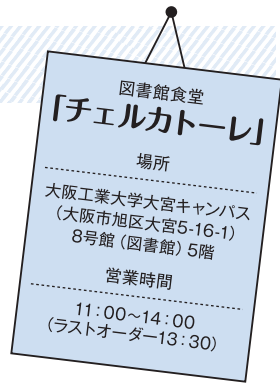
昨年4月にリニューアルオープンした図書館食堂。内装は本学と連携協定を結ぶ奈良県川上村の吉野杉材などを使用したオシャレなカフェ風になり、イタリアンをメインに提供することで女性にも気軽に利用できるレストランになりました。

リニューアルに伴い、5月に課外活動団体「ボランティア・Link」が新しい名称を学内で公募した結果、130件もの応募がありました。部内投票を行い新名称の候補を10件に絞り、最終的には西村泰志前学長が選定。安藤大成さん（院EDM2）が応募した名称「チェルカトーレ」が選ばれました。商標権

などの手続きを経て1月21日に新名称をお披露目し、賞金の贈呈式を行いました。

安藤さんは、リニューアルしたての4月に食堂を訪れた際、本格的なパスタを大学で食べられることに感動し、「本格的なイタリアンを提供するレストランなので、イタリア語で新しい名称に応募したいと思いました」と振り返ります。さらに「大学らしい単語をイメージしたときに「探究者」という言葉が思い浮び、それをイタリア語に翻訳したcercatore（チェルカトーレ）に決めました。高等教育機関である大学のイメージやイタリアらしい語呂の良さから、新しいレストランにぴったりだと思い応募しました」と新名称に込めた思いを教えてくださいました。

チェルカトーレとしての営業は1月21日からスタート。メニューは、洋食を中心とした「ウニコランチ」、旧白馬時代のボリューム満点「レガシーランチ」、イタリアの食材を使った本格「パスタランチ」から、サラダバー、ドリンク、手作りスイーツなど魅力的な商品を多数取り揃えています。学生だけでなく、一般の方もご利用いただけますので、ぜひ一度ご賞味ください。



贈呈式に出席した安藤さんとボランティア・Linkの部員、チェルカトーレの副店長奥村さんとスタッフの皆さん

大学院の給付制奨学金が充実しています！

本学では学生が積極的に勉学に励み、充実した学生生活を送ることができるよう、特に学内進学者向けに、独自の給付制奨学金を整備しています。これら奨学金は勉学に意欲があり、それにふさわしい能力を持った学生の経済的困難を支援するものです。

特に「大学院入学前予約採用型給付奨学金」は原則として、「学内進学者入学選考」および知的財産学部は「早期進学」の入学者も援助する制度で、大学院生を強力にサポートしています。

2021年度入学対象 大学院学内奨学金制度の概要(学内進学者限定) いずれも給付制奨学金。

奨学金の種類	大学院 入学前予約採用型給付奨学金		大学院 グローバル人材奨励給付奨学金		大学院 特待奨学金	
	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程
給付額 (年額・予定)	【学科内成績最上位者】 (1年次時)57万5千円 (2年次時)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次時)37万5千円 (2年次時)30万円	【学科内成績最上位者】 (1年次時)60万円 (2年次時)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次時)40万円 (2年次時)30万円	20万円		年間授業料の 全額相当額	
採用資格	本大学院所定の入試 ^(※1) により合格した学生で、 学業・人物ともに優秀と認められる者		本学の学内進学者および学内進学した学生で、 出願時にTOEICスコアが550点以上を 有する者 ^{(※3)(※4)}		学部3年次までの成績が極めて優秀で、 経済的理由のため就学が困難と認められる者で、 TOEICスコアが450点以上を有する者 ^(※3)	
採用定員	採用資格を有する者		採用資格を有する者		原則、各学科1人	
給付期間	2年間 (継続審査無し)		1年間 (在学時1回限り)		2年間 (1年次末に継続審査あり)	
出願について	入試出願時に合わせて出願 ^(※2)		4月に説明会を実施		不要	

※1 所定の入試は、博士前期課程は学内進学者入学選考、専門職学位課程は学内進学者入学選考または、早期進学による所定の入試を示す。

※2 専門職学位課程の早期進学者については、説明会を11月に実施予定。 ※3 スコアレポートを提出できる者(得点は変更される場合があります)。

※4 スコア取得時期は大阪工業大学・同大学院在学中に限り、外国人留学生は除きます。

学生相談室
だより

モノとの対話で見えてくる自分

学生相談室カウンセラー 森崎 志麻

卒業される学生の皆様、おめでとうございます。4月から暮らす環境が大きく変わり、新生活への準備に忙しいという方も多いのではないのでしょうか。在学生の方々も、新年度に向けて、部屋を片付けたり、新しく必要になるものを買ったりしている人もいるかもしれません。

モノを買ったり、捨てたり、捨てられなかったりという行為の背景には、人間の様々な感情が隠れているように思います。ポロポロだけ愛着があって着続けているTシャツ、かっこよく見せたいと背伸びして買った靴、全然読んでないけどいつか読むかもと置いてある本(これは私です…)などなど。どうして自分はこれを買ったんだろう？

捨てられないんだろう？そんなふうの一つひとつのモノとの関係を見つめ直してみると、何を大切にしたいのか、何を不安に感じているのか、どんな自分になりたいのか、といった自分の気持ちが見えてくるかもしれません。

たかがモノ、されどモノ。どんなモノに囲まれているかで、人の気持ちはイライラしたりも穏やかになったりもします。周りのモノとの関係を見直してみると、気持ちの整理にもつながります。ぜひ春休みの1日をモノとの対話と、そこから気づく自分の気持ちの整理に使ってみてはいかがでしょうか。